

硬度と柔軟性を併せ持つ 2 液ウレタン 041 クリヤー & 専用硬化剤



041 クリヤー



051 硬化剤 053 硬化剤



031 シンナー

3 大特長

- ① 鉛筆硬度 3H ~ 4H という硬さを持ちながら、180° 以上の折り曲げにも追従する超柔軟性です。
- ② 硬化後の塗膜は、耐擦傷性、防汚性に優れ、ワックス掛けをしたようなツヤに仕上がります。
- ③ レベリングが非常に良く、肉持ち感のある鏡面肌を得られるので透明度が非常に高く仕上がります。

使用方法

- ① 被塗面の油分・ホコリ等を完全に除去してください。
- ② 041 クリヤーは、主剤4に対して硬化剤1の割合(重量比)で混合してください。(硬化剤は051 硬化剤または053 硬化剤)
- ③ 2回のコーティングで十分な肌を得られます。ただし、2回目のコーティング前に、常温(20℃)湿度60%で5分程度のセッティングをとるように心掛けてください。
必要であれば、3回目のコーティングをしてください。
 - ・ 塗布量の目安は、口径1.3mmのスプレーガンで100 ~ 130g/㎡、膜厚は40 ~ 50μmとなります。
 - ・ 希釈が必要な場合には、『031 シンナー』をご使用ください。
希釈率は15%を上限としてください。
- ④ 常温(20℃)湿度60%で15分程度自然乾燥し、その後60℃で30 ~ 40分程度強制乾燥してください。(始めから高温での加熱は避け、低温から徐々に必要温度まで昇温させてください。)

注意点

- 10℃以下の場所で作業を行なう場合には、あらかじめ室温を上げておくか、塗装後温度を上げるようにしてください。
- 温度が低い場合、乾燥を早めようとして硬化剤を増すとかえって乾燥時間が遅くなります。その場合、5 : 1の範囲まで硬化剤を少なくすることで乾燥を早めることが可能です。
- 041 クリヤーには、051 硬化剤 SPOT を使用してください。
- 041 クリヤー(速乾)には、053 硬化剤(速乾)を使用してください。

コード	品名	NET	入数
30-041	041 クリヤー	3.7L	4
30-043	041 クリヤー(速乾)	3.7L	4
30-051	051 硬化剤 SPOT(標準)	0.95L	4
30-053	053 硬化剤(速乾)	0.95L	4
30-031	031 シンナー	3.7L	4

※カタログに記載されている内容は、予告なく変更する場合があります。